環 境 教 育

1　環境教育の目標

環境や環境問題に関心・知識を持ち、人間活動と環境とのかかわりについての総合的な理解と認識の上に立って、環境の保全に配慮した望ましいはたらきかけのできる技能や思考力、判断力を身につけ、よりよい環境の創造活動に主体的に参加し、環境への責任ある行動がとれる態度を育成する。

2　環境教育の３つの視点

(1)環境に親しむ活動
　自然に対する豊かな感受性や環境に対する関心を培う。
(2)環境のしくみを学ぶ運動
　自然保護や環境保全に対する責任と役割を理解する。
(3)環境を保全・創造する活動
　環境保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動する実践的な態度を育む。

3　環境教育を進めるにあたっての留意点

(1)学校の教育活動全体を通した環境教育に努める。
(2)環境に関する指導内容や指導方法を工夫する。
(3)家庭・地域社会との連携を図る。

4　各教科での環境教育の指導

（学習指導要領における環境教育にかかわる主な内容）

<table>
<tr><th colspan="2">社　会（地理・歴史・公民）</th><th colspan="3">理　科</th></tr>
<tr><td colspan="2">（地理的分野）
・環境やエネルギーに関する課題
（公民的分野）
・公害の防止など環境の保全
・地球環境、資源・エネルギー問題についての学習</td><td colspan="3">（１分野）
・環境の調和を図った科学技術の発展の可能性
・人間が利用しているエネルギーには水力、火力、原子力など様々なものがあること
・エネルギーの有効利用の大切さ
（２分野）
・自然環境を調べ、自然環境のつり合いの上に成り立っていることの理解
・自然環境保全の重要性の認識</td></tr>
<tr><th>技　術・家　庭</th><th>保健体育</th><th>道　徳</th><th colspan="2">特別活動</th></tr>
<tr><td>（技術分野）
・技術と環境エネルギー資源との関係
（家庭分野）
・自分の生活が環境に与える影響について考え環境に配慮した消費生活の工夫</td><td>（保健分野）
・環境の保全に十分配慮した廃棄物の処理の必要性
・地域の実態に即して公害と健康の関係を取り扱う。</td><td>・自然・環境</td><td colspan="2">・学級活動
・生徒会活動
・学校行事
・学校版とくしま GX スクール
・学校環境美化活動</td></tr>
<tr><td>総合的な学習の時間</td><td colspan="4">・自然体験やボランティア活動などの社会体験
・見学や調査、発表や討論
・ものづくりや生産的な活動</td></tr>
<tr><td>環境・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ委員会</td><td colspan="4">・エコ、リサイクル活動
・環境保全に関連した地域活動への参加</td></tr>
</table>